

■国3・4・11号線新設区間周辺エリアのまちづくり方針（第3回協議会時点での確認）

国 3・4・11号線新設区間エリア

まちづくりの方向性

史跡と調和し、緑のある、安全・安心で住みやすい住宅環境のまちづくり

国3・4・11号線新設区間エリアでは、災害に強い中層住宅を誘導し、安全・安心のまちを目指します。

緑豊かな本エリアの特性を将来も維持するため、民有空間及び公共空間の緑化を進めるとともに、市の貴重な歴史資源である史跡との調和を図り、住みやすい住宅環境のまちを目指します。



壁面後退により前面空間を創出して緑を配置した場合のイメージ
まちなみのイメージ

まちづくり方針

土地利用について

○中低層の住宅を主体としつつ、幹線道路沿道の立地条件を活かして店舗や事務所等の多様な土地利用を可能にし、それらが調和した良好な住宅環境の形成を目指します。

緑・景観について

- 緑化を進め、緑とうるおいのあるまちなみの形成を目指します。
- 建築物等に関しては、史跡のまちにふさわしい落ち着いた色合いのまちなみ景観の形成を図ります。

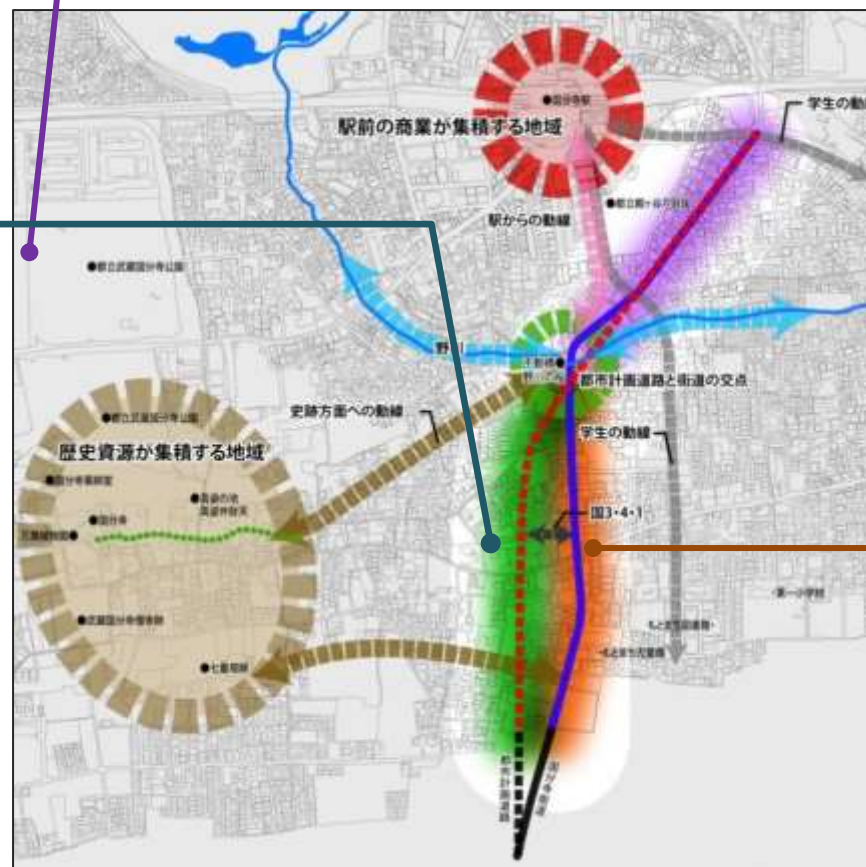
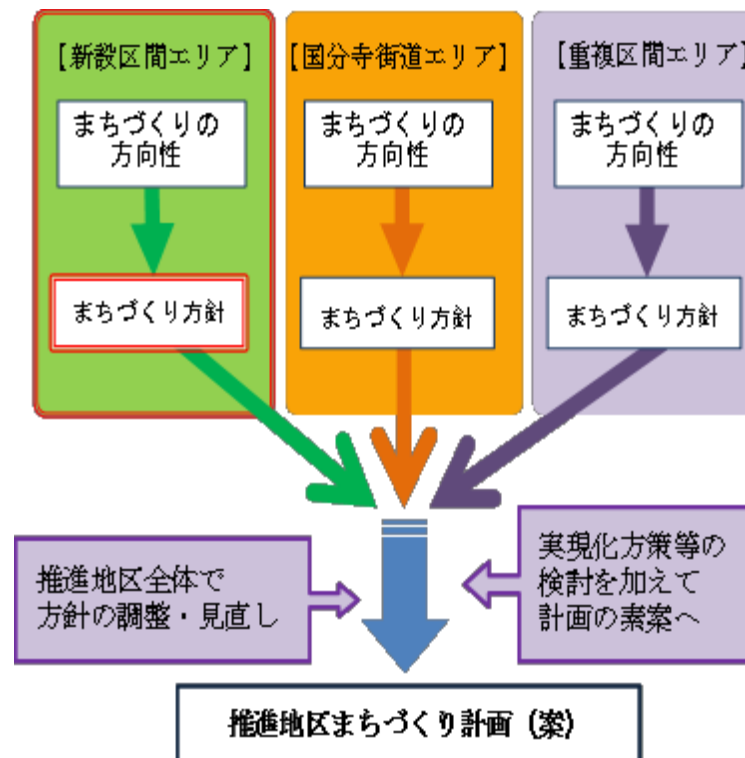
安全・安心について

- 国3・4・11号線に通過交通を集約し、周辺道路の安全確保を目指します。
- 沿道建築物の不燃化を誘導し、延焼防止の機能を高め安心なまちの形成を目指します。
- 防災・防犯性の高いまちの形成を目指します。

良好なまちづくりについて

- 史跡や湧水など市の魅力資源をまちづくりに活かします。
- 国3・4・11号線と国分寺街道の国3・4・1号線の一部を整備し、2本の道路を結ぶルートを確認します。

【まちづくり方針の位置付け】



国 分寺街道・国3・4・11号線重複区間エリア

まちづくりの方向性

駅近であるメリットを活かした住商両立のまちづくり

国分寺街道・国3・4・11号線重複区間エリアは、国分寺駅に最も近いエリアである優位性を活かし、多くの人々が行き交うまちを目指します。

中高層建築物の立地を誘導し、特に、駅に近い北側のエリアでは、低層階に店舗等があり学生や住民が集い楽しむことのできるまちを目指します。



壁面後退によるオープンスペースを創出した場合のイメージ
まちなみのイメージ

国 分寺街道区間エリア

まちづくりの方向性

歩いて身近なショッピングとにぎわいが楽しめるまちづくり

国分寺街道区間エリアでは、現在担っている幹線道路の機能を都市計画道路が担うため、歩行者が安心して歩くことができ、ショッピングが楽しめるまちを目指します。

また、駅に近いエリアを中心に、建築物の低層階に店舗等が続き、人が集まり、人を呼ぶ、にぎわいのあるまちを目指します。



まちなみのイメージ

■まちづくり方針の展開

